

1

連結業績概要 (① 前期比)

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	増減		特記事項
			増減	増減率	
売上高	1,012.8	1,185.2	△172.3	△14.5%	<売上> 国内: 鋼板商品の販売量減少などから減収 海外: 台湾SYSCO社の販売量減少、販売価格の下落などから減収
(売上総利益)	158.1	188.6	△30.4		
(販管費)	103.4	106.2	△2.8		
営業利益	54.7	82.3	△27.6	△33.6%	<営業利益> 販売価格改善に努めるも販売数量の減少により減益 <営業外収益> <営業外費用> 投資有価証券売却益などの計上
(営業外収益)	23.5	28.8	△5.3		
(営業外費用)	1.5	1.5	0.0		
経常利益	76.7	109.6	△32.8	△30.0%	<特別利益> 固定資産売却益計上 <特別損失> 固定資産除却損計上
(特別利益)	9.5	0.0	9.5		
(特別損失)	4.7	7.1	△2.4		
税引前利益	81.5	102.4	△20.9	△20.5%	
(法人税等)	23.9	29.1	△5.1		
(非支配株主利益)	5.6	14.7	△9.0		
親会社株主利益	51.8	58.5	△6.7	△11.5%	<包括利益> 当期: 四半期純利益 57億、その他有価証券評価差額金 30億、為替換算調整勘定 36億ほか
(EPS(円/株))	179.56円	203.08円	△23.5円		
包括利益	125.1	99.9	25.1		

2

連結業績概要 (② 予想比)

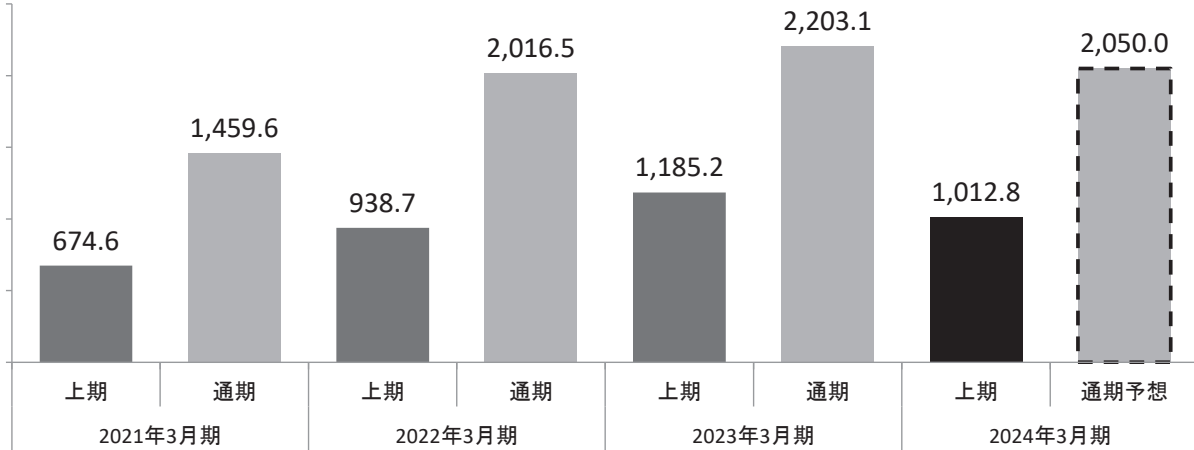
株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

連結上期 (億円)	実績	予想 (2023年8月開示)	差異
売上高	1,012.8	1,020.0	△7.1
営業利益	54.7	45.0	9.7
経常利益	76.7	56.0	20.7
親会社株主利益	51.8	30.0	21.8

- 利益: エネルギーコスト他、各種コストを保守的に想定していた。
投資有価証券を一部売却したことによる。

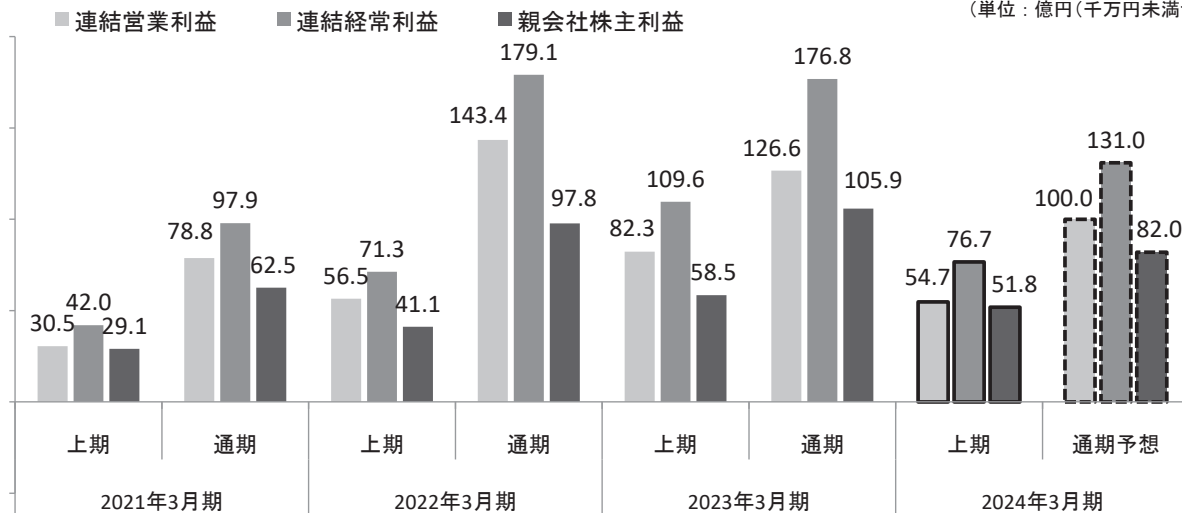
(単位：億円(千万円未満切捨))



【減収 172億の主な内訳】

- ・ 淀鋼 $\Delta 112$ 億 (764 \rightarrow 652)
建築需要の停滞などから、ひも付き・店売りいずれにおいても販売量が減少し減収。エクステリアはガレージの販売が堅調に推移するも、物置の販売数量は伸びず
- ・ 台湾SYSCO社 $\Delta 86$ 億 (331 \rightarrow 244)
世界的なインフレや利上げの影響による製品需要の縮小などにより、特に輸出向けの販売量が減少し、減収
- ・ 中国YSS社 +11億 (50 \rightarrow 61)
めっき鋼板の販売は苦戦するも、カラー鋼板は堅調に推移し増収
- ・ タイPPT社 +2億 (25 \rightarrow 27)
高付加価値商品の販売が堅調だったことに加え、スプレッドの維持に努め増収

(単位：億円(千万円未満切捨))



【営業利益 27億減益の主な内訳】

- ・ 淀鋼 $\Delta 12$ 億 (57 \rightarrow 45)
販売価格の改善に努めるも、主に鋼板事業における販売量の減少により減益
- ・ SYSCO社 $\Delta 18$ 億 (29 \rightarrow 11)
需要の停滞に伴う販売数量の減少、価格競争の激化などにより減益
- ・ YSS社 +0.5億 ($\Delta 3.8$ \rightarrow $\Delta 3.3$)
受注競争、価格競争の激化により利益の回復は小幅に留まる
- ・ PPT社 +0.7億 (2.0 \rightarrow 2.7)
スプレッドの維持などに努め増益

(単位:億円(千万円未満切捨))

	売上高			セグメント利益		
	当上期	前上期	増減率	当上期	前上期	増減率
鋼板関連	961.7	1,140.4	△15.7%	53.8	85.2	△36.9%
ロール	17.1	13.2	29.5%	0.7	△2.1	-
グレーチング	17.1	16.8	2.3%	0.8	0.2	228.9%
不動産	6.2	6.1	1.2%	3.9	4.0	△3.3%
報告セグメント計	1,002.3	1,176.6	△14.8%	59.4	87.4	△32.1%
その他	10.5	8.6	22.6%	1.8	1.9	△6.0%
合計	1,012.8	1,185.2	△14.5%	61.3	89.4	△31.5%
調整額				△6.5	△7.1	
PL計上額	1,012.8	1,185.2	△14.5%	54.7	82.3	△33.6%

(単位:億円(千万円未満切捨))

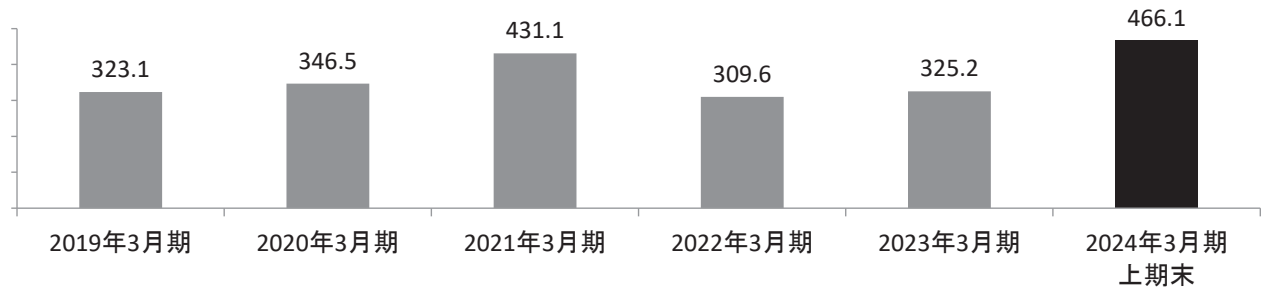
	当上期末	前期末	増減		特記事項
			増減	増減率	
総資産	2,596.2	2,510.5	85.6	3.4%	<資産> (流動)現金及び預金の増加 有価証券の減少など (固定)投資有価証券の増加など
(流動資産)	1,545.3	1,508.6	36.6	2.4%	
(固定資産)	1,050.8	1,001.8	48.9	4.9%	
負債	479.7	491.5	△11.7	△2.4%	<負債> (流動)支払手形、買掛金の減少など (固定)繰延税金負債の増加など
(流動負債)	326.5	350.9	△24.4	△7.0%	
(固定負債)	153.2	140.5	12.6	9.0%	
純資産	2,116.4	2,019.0	97.4	4.8%	<株主資本> 当期:親会社株主純利益51.8億、 配当△20.4億など <その他包括利益累計額> 有価証券評価差額金の増加 為替換算調整勘定の増加など
(株主資本)	1,588.6	1,556.5	32.0	2.1%	
(その他包括利益累計)	291.4	240.1	51.3	21.4%	
(非支配株主持分)	234.9	220.9	14.0	6.3%	
(BPS(円/株))	6,508.7	6,223.2	285.5		
自己資本	1,880.1	1,796.7	83.4	4.6%	
自己資本比率	72.4%	71.6%	0.8pt		

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	前年同期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
営業CF	76.4	46.8	29.6	—	棚卸資産の減少による増加
投資CF	1.0	△10.5	11.5	—	有形固定資産の売却等による収入
財務CF	△32.9	△39.4	6.4	—	当期: 配当△20.7億 など
現金及び同等物	466.1	325.2	140.8	43.3%	

(単位: 億円)

現金及び同等物残高



淀川製鋼グループ 2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

Copyright(C) 2023 Yodogawa Steel Works, LTD. All Rights Reserved



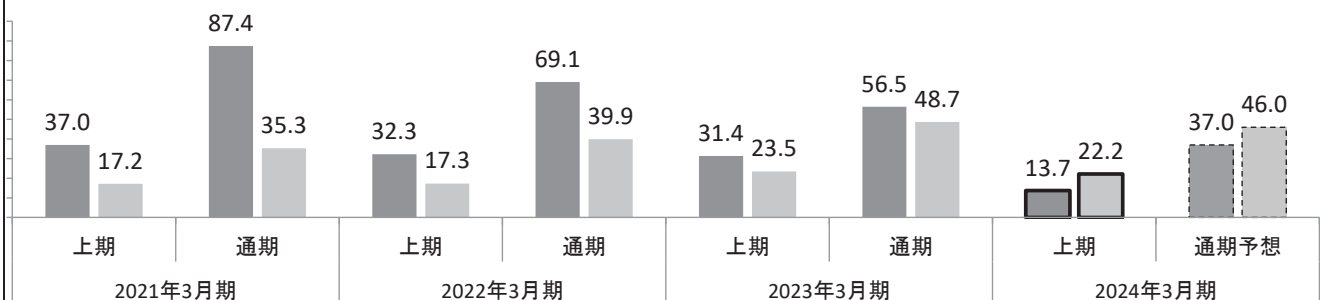
7

(有形固定資産のみ。建設仮勘定を含む資産計上ベース。単位: 億円(千万円未満切捨))

	当上期	前上期	前年同期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
設備投資(連結)	13.7	31.4	△17.6	△56.3%	大きな投資案件なし
減価償却(連結)	22.2	23.5	△1.2	△5.5%	大きな変動なし
設備投資(個別)	8.4	8.2	0.2	3.2%	大きな投資案件なし
減価償却(個別)	10.5	10.7	△0.2	△1.9%	大きな変動なし

(単位: 億円)

■ 設備投資額(連結) ■ 減価償却費(連結)



淀川製鋼グループ 2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

Copyright(C) 2023 Yodogawa Steel Works, LTD. All Rights Reserved



8

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	会社	案件	完成年月 (完成予定を含む)	総投資額 (資産計上ベース)
当期実施	淀鋼	ルーフ成型機製作	2024年3月	1.6
	淀鋼	大阪工場 カラーラインインバーター更新	2023年5月	1.6
	淀鋼	市川工場 めっきライン計算機システム更新	2024年10月	1.9
今後予定	SYSCO社	2号めっきライン電機品更新	2024年7月	131.5百万NTD (約5.8)

10 連結業績予想

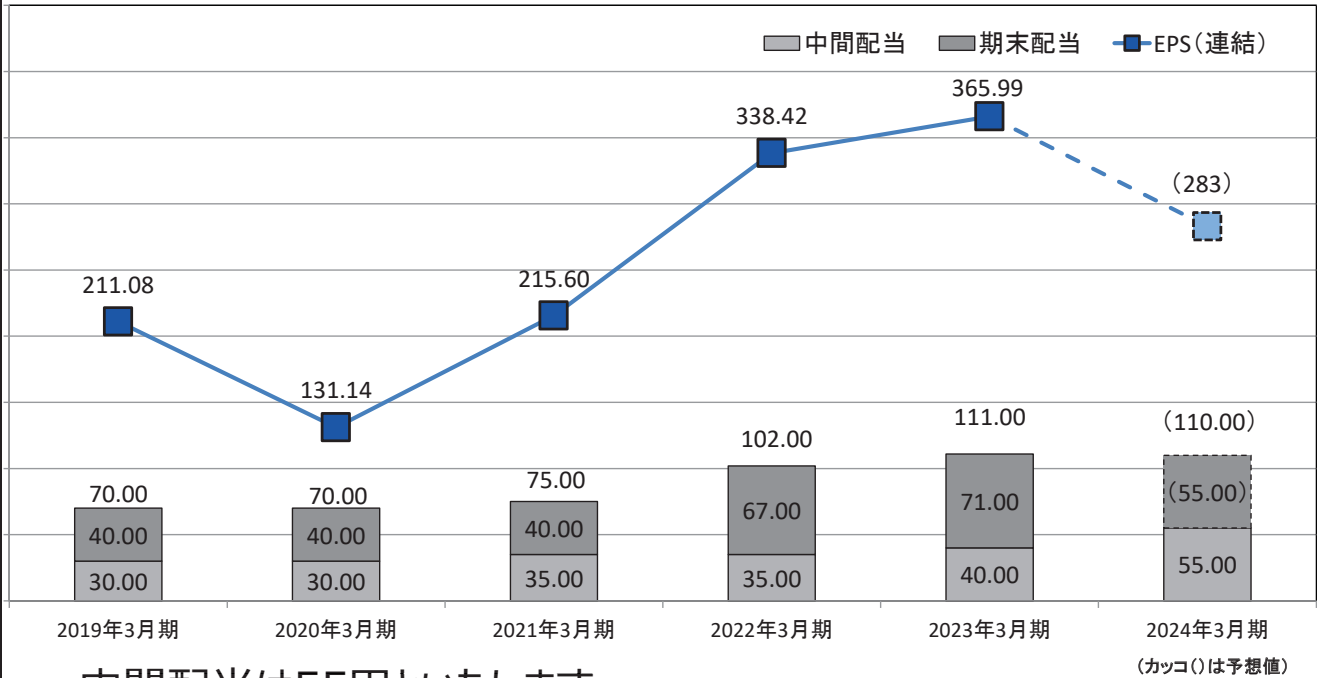
(単位: 億円(千万円未満切捨))

	2024年3月期	通期予想		上期実績		(参考)下期予想	
		前期比増減	前期比増減	前期比増減	前期比増減		
連結	売上高	2,050.0	△7.0%	1,012.8	△14.5%	1,037.1	1.9%
	営業利益	100.0	△21.0%	54.7	△33.6%	45.2	2.2%
	経常利益	131.0	△25.9%	76.7	△30.0%	54.2	△19.3%
	親会社株主利益	82.0	△22.6%	51.8	△11.5%	30.1	△36.3%
個別	売上高	1,300.0	△10.6%	652.6	△14.7%	647.3	△6.0%
	営業利益	74.0	△32.9%	45.1	△21.3%	28.8	△45.5%
	経常利益	104.0	△38.9%	71.4	△29.5%	32.5	△52.7%
	純利益	79.0	△37.5%	55.5	△26.2%	23.4	△54.2%

- 国内は主に建築需要の停滞などから減収減益。海外も中国経済の停滞などによる鉄鋼需給ギャップの影響を受け減収減益を見込む。

11 配当

(単位：円/株)

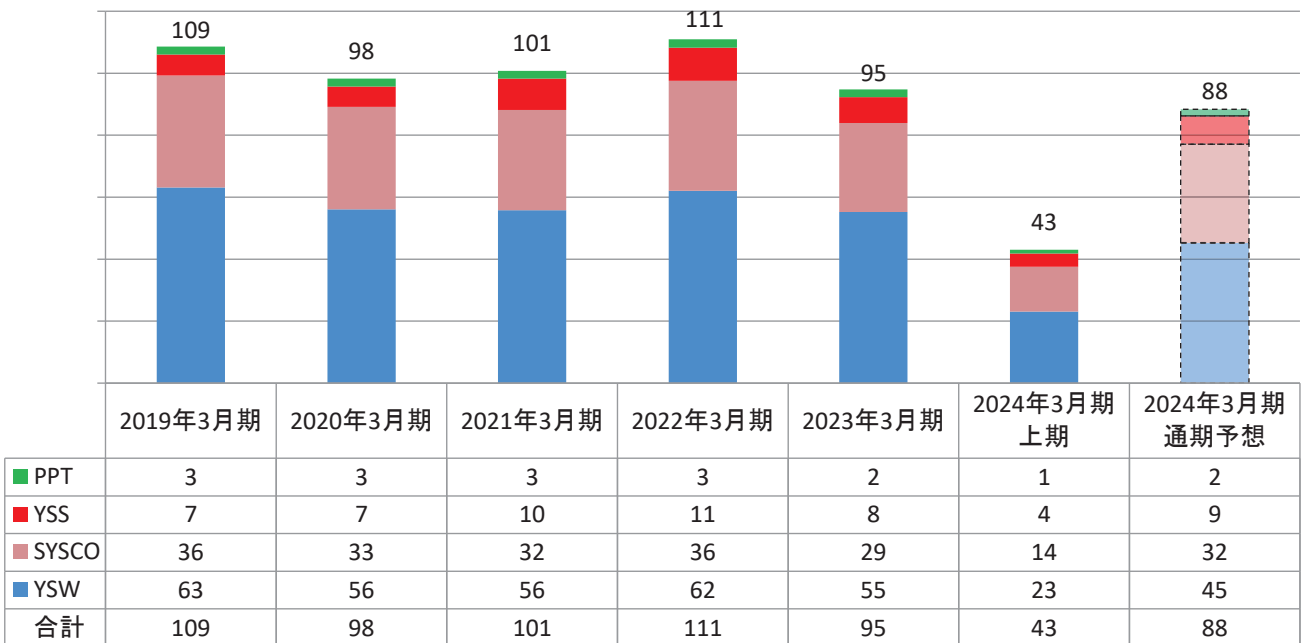


- 中間配当は55円といたします。
- 期末配当予想を55円、年間配当予想を110円といたします。

12 ご参考①

【グループ鋼板商品の一級販売量推移】連結消去は考慮せず

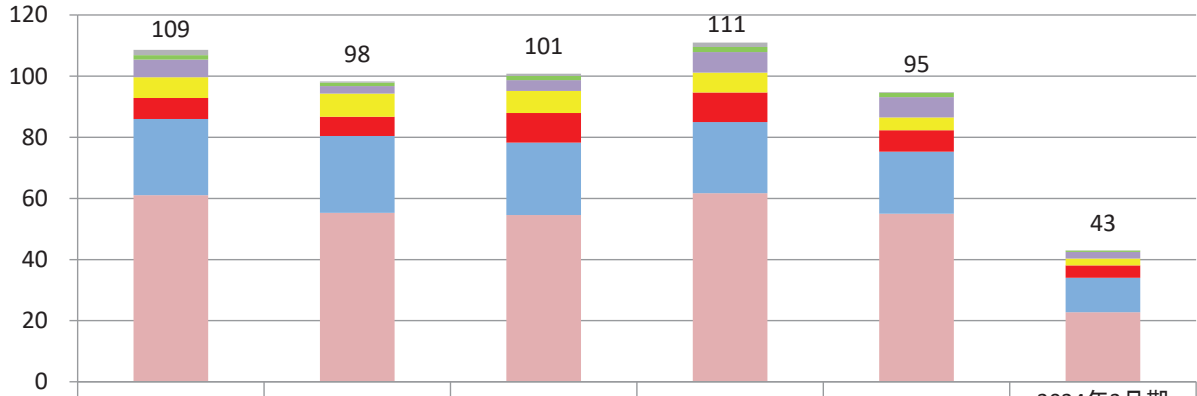
(単位：万トン)



- YSW（淀鋼）は建築需要の停滞などから販売量減少
- SYSCO社は輸出向けが低調、YSS社は小幅の改善に留まる

【グループ鋼板商品の向先別一級販売量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)



	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 上期
■ その他	2	0	1	1	0	0
■ オセアニア	1	1	1	2	1	0
■ 北中南米	6	2	4	7	7	2
■ その他アジア (中東除く)	7	8	7	7	4	2
■ 中国・香港	7	6	10	10	7	4
■ 台湾	25	25	24	23	20	11
■ 日本	61	55	55	62	55	23
合計	109	98	101	111	95	43